
のどかな日

松本 藍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

のどかな日

【Zマーク】

N1704P

【作者名】

松本 藍

【あらすじ】

まったくのどかな内容ではありません。

Locked~とはまた違う「私」の感情を。書きたいだけに書きなぐつたのでまた酷いです。

少しえぐい描写があります

死にたい、と思う。

もう諦めようかなあなんて。

死んじやえは楽かなあなんて、そんな気がした。

地位も名誉も富も美貌も、何もかもいらない。橘しか欲しくない。でも橘はそんな私の事を知らずに、今日も私の知らない女と過ごしている。使用人である橘と私の関係はあくまでも彼の仕事上の事であつて、私は彼に思いを告げられない。

私は自宅マンションの屋上で遙か、フェンスに体重をかけて階下のアスファルトを仰ぐ。都内でもなかなかの高さを誇る我がマンション。落ちればぐしゃぐしゃで汚らしい屍になるに違いない。

生活費の足しに伯父のキヤバクラで歌姫として活躍できる美貌も、ここから飛び降りれば瞬時にただの肉片になる。きっとそこ新しいアスファルトに私の血肉がこびりついて、それを見た人はきっと吐瀉物撒き散らして更にアスファルトを汚すだろう。カラスや蠅や野良犬の餌にもなるだろう。

ふと思う。

ただの肉になつても病院に搬送されるのかしら。
葬式つて執り行われるのかしら。

私が見た死体になつた皆様は綺麗な体で煙になつた。

じゃあ、例えば今すぐ飛び降りて、私を今まで支えた骨は砕けてさらけ出されて、橘を想う脳みそはぶちまけられてぐちゃぐちゃになつて、彼のために鼓動を早くした心臓はひしゃげで潰れて ただの肉になつたら。

橘の私に抱く最後の印象が肉になるのかしら。

元の、今の綺麗な私を忘れて誰とも同じ赤黒い肉になるのかしら。

私が姿を消して、私の知らない誰かが肉片になつて、医師が「これが本堂一紗さんです」なんて言つて、橘が歎くなんて 私以外の他人に、橘が涙するのは許せない。

いいかえれば、私の肉片が私と認識されなかつたら、橘は嘆きもない。

もつと許せない。

：あーあほくさ。

笑いが出てきた。

死んでも彼を思うように操れないなんて、ばかみたい。

人間は簡単に死ぬようで、死はない。ぼつくり逝くのがいかに幸せなことか。

自殺しようにも苦しみながら死ぬしかない。オーソドックスな手首切りは失敗しやすいに、痛い。頸動脈を切るのも、胸を刺すのも痛い。薬を飲めば口に吐瀉物貼付けた死体となるし、首吊り自殺は苦しいうえに首が伸びる、顔が腫れる、体の穴という穴から内容物がながれでる。水死なんてもつときつい。ふやけて腐れて顔の大きさが2倍になつて判別できないというのだ。死ぬのも容易ではない。痛いか苦しいか、死体が凄まじい姿になるのだから。

初めから飛び降りるつもりなんてなかつたがいざ死ぬことを考える
と大、ばば様のように眠るように逝くなんて、幸せだ。
死にたいけれど、同じような肉片にはなりたくない。

せめて、物語にあるように死体に縋り付いて泣かれるような姿形で死にたいや。

生きるのも死ぬのも、全部橘のためだ。

橘を殺して自分も死のうか、なんてできやしない。愛する人を殺す程、私の愛は生易しくないのかも知れない。

私はフェンスから体を離して、遙か遠く輝く満月を見上げた。

じゃあ 橘に愛されれば、私は死にたいと思わなくなるのかしら。

彼に愛される為に生きよつかしい。

また絶望してここに来て、死にきれないでまた生きて。 そんな繰り返しかもしれないけれど 生きていて、綺麗な体があるうちに、 橋に愛されたい。 愛されるまで、 何でもして生きていく。

だいたいあと70年。

制限時間は私が彼のどちらかが朽ち果てるまで。

ふふふ。

なかなか大変そうね。
でも彼の為なら辛くないかしら。

私の複雑でドロドロな心境に似合わない、都会の澄んだ空。 その中天にある満月は何にも穢されずに、ただ白く輝いていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1704p/>

のどかな日

2010年11月27日17時35分発行